

課題名：パーキンソン病に対する真の意味のオーダーメイド治療を目指した研究
(代表者：戸田 達史 国立大学法人東京大学 大学院医学系研究科・教授)

パーキンソン病に対するオーダーメイド治療を確立するために種々のアプローチが取られており、薬効予測 SNP の同定等、順調に進捗している。臨床的にも目的が明確であり、実臨床への応用に期待できる。特許出願も 1 件ある。若手研究者のキャリアパス支援については、学生・若手研究者を対象としたセミナーなど実施するなど多くの研究者を育てている。

一方で、データシェアリング、特にデータ登録・公開が遅れ気味である。

今後、解析データの共有と活用を積極的に取組みながら、本研究が進展していくことが期待される。